

---

---

「摂津市地域多職種連携の会」のあゆみとその展望

長谷一郎 切東美子 馬場義親 山内榮樹

摂津市医師会

---

「摂津市地域多職種連携の会」は2017年に前身の「摂津市在宅医療研究会」として立ち上げられた勉強会である。当初は限られた職種でスタートをしたが、地域医療を担うすべての職種に協力を依頼し、徐々に参加をされる職種も増え、会の充実もはかれるようになった。2017年2月に第1回が開催され、2023年4月までに計30回開催された。当初は医師や看護師を対象に概ね2ヶ月に1回のペースで開催をされていた。しかし新型コロナウイルスの感染拡大でこの会も多大なる影響を受け、一時中断を余儀なくされた。従来は業務の終了をした20時から会場に一堂に会して研修を行っていたが、新型コロナウイルスの感染拡大のもとでは、他の学会や研修会と同様にWEB上での講義形式の開催で継続をしていた。しかし今年の5月には新型コロナウイルス感染症も5類相当の感染症になるなど大きな変化がある。今後はこの会も変化する環境への対応が必要である。今回これまでの出席者を対象に「摂津市地域多職種連携の会」についてのアンケートを行った。本発表ではこのアンケート結果をもとに摂津市における多職種連携の現状と今後の展望について若干の考察を加えて報告をしたい。